

科目名	児童教育理論		
担当教員名	狩野 浩二		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-小学校英語指導者養成課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

位置づけ：短期大学部英語英文対象の「小学校英語指導者養成課程」の必修科目である。

目 標：初等教育全般にわたるテーマの学習を通して、教育に対するものの見方や考え方、教師としての仕事について学ぶ。

概 要：小学校における教育活動の実際について学びます。埼玉県新座市内の学校の他、実際の学校現場で子どもたちがどのように学んでいるか、先生方はどのように子どもたちと接しているかということについて、実際に学びあう予定です。

内容

テキストに沿って、講義をすすめる予定です。以下は、内容の例示です。

順序は変わる場合があります。

1. 小学校とはどんなところか
2. 小学校に通う子どもたち
3. 小学校の先生
4. 小学校の教育内容
5. 小学校の教育方法
6. ユニークな小学校
7. 授業とは何か
8. 教材解釈
9. 授業分析
10. 指導と評価
11. 教育実践記録の作成
12. 身体表現活動
13. 学校公開研究会
14. 授業の実際に学ぶ
15. まとめ

評価

各回ごとの課題作成(20%)、口頭発表(20%)、レポート(20%)、最終試験(40%)、学則にしたがい、三分の二以上出席することで最終試験を受けることができます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト(教科書)】 田嶋一他『新版やさしい教育原理』有斐閣

【推薦書】 齋藤喜博『君の可能性 なぜ学校へ行くのか』ちくま文庫 齋藤喜博『授業入門』国土社

【参考図書】 細谷俊夫、河野重男、奥田真丈、今野喜清編『新教育学大事典』第一法規 悔悟宗臣監修『日本近代教育史事典』平凡社 大田堯、中内敏夫、民間教育史料研究会編『民間教育史研究事典』評論社

科目名	児童心理学		
担当教員名	狩野 浩二		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-小学校英語指導者養成課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

位置づけ：短期大学部英語英文対象の「小学校英語指導者養成課程」の必修科目である。

目 標：児童の理解と教育に関わる心理学のテーマやその諸問題の基本について、学童期を中心に学ぶ。

概 要：小学校に通う子どもたちの実情について学びます。埼玉県新座市内の学校の他、実際の学校現場で子どもたちがどのように学んでいるかということについて実地調査を行う予定です。

内容

以下の項目を取り上げます(順不同)。

なるべく、実際の教育活動を見る機会をつくりたいと思います。

1. 子どもが悪いのではない
2. 学ぶことと教えること
3. 授業の中の子ども
4. 集団で学ぶことの意味
5. 特別な教育的ニーズ
6. 子どもの描画表現
7. 子どもの歌唱表現
8. 子どもの身体表現
9. 学習指導と生活指導
10. 誤答の真実
11. ちゃん式間違い
12. 集中と開放
13. 子どもの非行にどう向き合うか
14. 子どもを形成する働き
15. まとめ

評価

各回ごとの課題作成(20%)、口頭発表(20%)、レポート(20%)、最終試験(40%)、学則にしたがい、三分の二以上出席することで最終試験を受けることができます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト(教科書)】 田嶋一他『新版やさしい教育原理』有斐閣

【推薦書】 斎藤喜博『君の可能性 なぜ学校へ行くのか』ちくま文庫 斎藤喜博『授業入門』国土社

【参考図書】 細谷俊夫、河野重男、奥田真丈、今野喜清編『新教育学大事典』第一法規 悔悟宗臣監修『日本近代教育』

史事典』平凡社 大田堯、中内敏夫、民間教育史料研究会編 『民間教育史研究事典』評論社

科目名	児童英語指導実習		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-小学校英語指導者養成課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

J-SHINE(特定非営利活動法人「小学校英語指導者認定協議会」)から正式に「小学校英語指導者資格」を取得するには、所定の課程を修める必要があります。その課程の中に、「児童英語指導実習」があり、実際に小学校で一定時間以上の指導実習をすることが義務づけられています。この授業は、指導実習へ行く準備として、心構え、知識、技術を身に付けることを目的とします。

前期修了の段階で英検2級レベルの英語力に達していない学生は、実習には参加できません。

内容

この授業は、小学校での実習を行うことにより2単位が与えられます。実習の準備として、前期には小学校英語教育の位置づけや役割、さまざまな教授法、指導計画の立て方などの講義に加え、学生による模擬授業を通して実践的な指導技術を身に付けます。後期に学生一人ひとりが小学校で「指導実習」を行いますので、引き続き実践的な模擬授業を中心に、指導技術に磨きをかけます。

評価

課題50点、模擬授業50点により評価を行い、60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

樋口忠彦(他)編集『これからの小学校英語教育 - 理論と実践』研究社